

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	重度障害者入院時コミュニケーション支援事業				シート番号	011-145
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援	課 評価責任者(課長名) 佐野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 22 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者総合支援法第77条、堺市重度障害者入院時コミュニケーション支援費の支給に関する要綱			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	重度の障害のために入院時にコミュニケーションがとれない障害者の病状や希望を医療スタッフに伝え、的確な医療が受けられるよう障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業として平成22年度から本事業を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	重度の身体障害者・知的障害者・精神障害者・障害児				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	重度の障害のため意思疎通に支援が必要な方が入院した場合に医療従事者との円滑な意思疎通の仲介を図り、安心して医療を受けられる環境を確保する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	意思疎通に支援が必要な重度障害者(児)が医療機関(精神科を除く)に入院した場合に、普段利用している指定障害福祉サービス事業者(訪問系)や登録している移動支援事業者から、ヘルパー又はガイドヘルパーをコミュニケーション支援員として派遣し、医療従事者との意思疎通の仲介を行い、その対価をサービス提供事業所に支払う。利用者負担額は無し。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	4,531	7,350	8,313	3,933	4,366	2,876	3,195	
	主な事業費内訳	扶助費	千円	4,531	7,350	8,313	3,933	4,366	2,876	3,195
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他()		千円								
	一般財源	千円	4,531	7,350	8,313	3,933	4,366	2,876	3,195	
12	人件費(b)	千円	820	820	820	820	810	810	820	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	5,351	8,170	9,133	4,753	5,176	3,686	4,015	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	重度障害者入院時コミュニケーション支援事業	シート番号	011-145
-------	-----------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	令和元年度は、重度の障害のために意思疎通に支援が必要な人が、病状や希望を医療スタッフに伝え、的確な医療が受けられる環境を整えるため、コミュニケーション支援員として延べ65人が利用し、派遣回数は715回となっている。					
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		サービス提供回数	目標値	-	-	-	-
			実績値	2,073	1,079	715	-
			達成率	-	-	-	-
	評価		-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		サービス提供回数(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)				
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		利用者数	目標値	-	-	-	-
			実績値	185	127	65	-
			達成率	-	-	-	-
	評価		-	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		延べ利用者数(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)				

事業の効率性

		区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	サービス提供回数	回	2,073	1,079	715
	②	上記①にかかる年間経費	千円	8,170	4,753	3,686
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	3,941	4,405	5,155
	備考(算出についての説明等)					
		区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	延べ利用者数、サービス提供回数ともに減少傾向である。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	重度障害者入院時コミュニケーション支援事業	シート番号	011-145
-------	-----------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響	
		<input type="checkbox"/> 廃止できる	適切な医療を受けるためには、重度障害者(児)と医療従事者との意思疎通が必要であるため、廃止をすると重度障害者の入院時のコミュニケーションの確保ができなくなる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない		
		事業休止の可能性	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響	休止の場合の再開時期
		<input type="checkbox"/> 休止(延期)できる	適切な医療を受けるためには、重度障害者(児)と医療従事者との意思疎通が必要であるため、休止をすると重度障害者の入院時のコミュニケーションの確保ができなくなる。	<input type="checkbox"/> 令和2年度中
<input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降			
21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	コストの縮減	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由	
		<input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	自立支援給付の居宅介護の報酬と同水準の報酬としているため、縮減できない。	
22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	事業手法の適切性	改善する場合は改善策、その他は理由	
		<input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 既に対応できている	対象者が医療機関に入院した際に、コミュニケーション支援員として病院に派遣し、医療従事者との意思疎通を図る支援のため、実施手法を改善することは困難である。	
23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□)	理由・説明 サービスの提供はすでに民間事業者の登録制としており、今後、新たな事業所の登録等があれば、さらなる公民連携等の可能性がある。また、政令指定都市20都市中、17都市で同事業を実施している。	
		① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進		
		② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化		
		③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 ()		
		④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携		
		⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡		
⑥ <input type="checkbox"/> その他()				
24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	事業の方向性	実施年度	
		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充	<input type="checkbox"/> 令和2年度	
		公金投入の方向性	<input type="checkbox"/> 令和3年度	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 重度障害者入院時コミュニケーション事業は重度障害者の地域生活を支援するため引き続き実施していく。今後は他政令市の動向などを踏まえ、対象者や利用時間数について検討をしていく。		